



2027年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年10月13日

上場会社名 株式会社エムビーエス 上場取引所 東・福
コード番号 1401 URL <https://www.homemakeup.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山本 貴士
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長兼 管理部長（氏名） 栗山 征樹（TEL）0836-54-1414
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年5月期第1四半期の業績（2026年6月1日～2026年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年5月期第1四半期	1,130	3.0	140	13.2	154	15.1	103	12.7
2026年5月期第1四半期	1,097	35.6	124	147.4	134	144.7	92	156.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年5月期第1四半期	14.98	—
2026年5月期第1四半期	12.97	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年5月期第1四半期	4,834	3,880	80.3
2026年5月期	5,112	3,880	75.9

（参考）自己資本 2027年5月期第1四半期 3,880百万円 2026年5月期 3,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年5月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2027年5月期	—				
2027年5月期（予想）		—	—	—	—

（注）2027年5月期の配当予想につきましては、現時点では業績予想の合理的な算定が出来ないため未定としておりますので、業績予想の公表と合わせてお知らせいたします。

3. 2027年5月期の業績予想（2026年6月1日～2027年5月31日）

2027年5月期の業績予想につきましては、現時点では中東情勢等の影響を受け業績に影響を与える未確定な要素が多く合理的な算定が困難な状況であるため未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点において速やかにお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年5月期1Q	7,732,000株	2026年5月期	7,732,000株
② 期末自己株式数	2027年5月期1Q	800,098株	2026年5月期	800,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年5月期1Q	6,931,902株	2026年5月期1Q	7,106,267株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(持分法損益等)	6
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇が継続する中、中東情勢の動向や自然災害の影響、金融資本市場の変動等、国内外の経済を取り巻く環境は、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する建設業界におきましては、政府及び民間の建設投資は底堅く推移している一方、建設技能労働者等の人手不足が続いていることに加え、資材価格や労務費等の建設コストが高水準で推移しており、工事採算への影響が懸念されるなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、引き続き既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注の確保・拡大を図ってまいりました。また、原価低減及び経費削減に取り組むとともに、工事採算性を重視した受注方針を徹底し、施工管理の強化並びに品質・技術の向上に努めてまいりました。加えて、定期的な施工会議を通じて、安全かつ良質な工事の提供に努めるなど、収益力の向上を図ってまいりました。

これらにより、当第1四半期累計期間における売上高は、工事が順調に進捗したことにより、1,130,090千円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は140,875千円（同13.2%増）、経常利益は154,654千円（同15.1%増）、四半期純利益は103,828千円（同12.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、工事が順調に進捗したことにより、売上高は1,083,194千円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は190,867千円（同2.5%減）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築および改修工事が増加したことにより、売上高は34,296千円（前年同期比21.4%増）、セグメント利益は1,452千円（前年同期は6,395千円のセグメント損失）となりました。

(その他)

不動産売買取引を行う不動産事業とF C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、不動産販売業務委託手数料の発生により、売上高は12,600千円（前年同期比65.9%減）。それに伴い、セグメント利益は12,498千円（同619.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ277,925千円減少し、4,834,394千円となりました。これは主に、現金及び預金324,887千円の減少、受取手形、完成工事未収入金及び契約資産109,327千円の減少、未成工事支出金77,252千円の増加、投資不動産31,778千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ277,078千円減少し、954,320千円となりました。これは主に工事未払金265,011千円の減少、未払法人税等の158,639千円の減少、未成工事受入金199,902千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ846千円減少し、3,880,073千円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金696千円の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年5月期の業績予想につきましては、現時点では中東情勢等の影響を受け業績に影響を与える未確定な要素が多く合理的な算定が困難な状況であるため未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点において速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,516,980	2,192,092
電子記録債権	65,314	68,310
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産	802,931	693,604
売掛金	39,342	42,843
未成工事支出金	58,487	135,740
販売用不動産	73,673	73,673
仕掛販売用不動産	15,562	15,562
原材料及び貯蔵品	54,901	50,572
その他	37,493	109,702
貸倒引当金	△13,564	△12,941
流動資産合計	3,651,123	3,369,162
固定資産		
有形固定資産	242,760	212,254
無形固定資産	11,640	10,209
投資その他の資産		
投資有価証券	444,122	446,349
投資不動産	572,446	604,224
その他	245,689	247,574
貸倒引当金	△55,463	△55,380
投資その他の資産合計	1,206,796	1,242,767
固定資産合計	1,461,196	1,465,231
資産合計	5,112,319	4,834,394
負債の部		
流動負債		
工事未払金	503,174	238,162
買掛金	124,079	79,229
未払法人税等	209,509	50,869
完成工事補償引当金	33,261	34,822
未成工事受入金	139,999	339,901
その他	203,741	194,149
流動負債合計	1,213,765	937,135
固定負債		
資産除去債務	1,963	1,964
その他	15,670	15,220
固定負債合計	17,633	17,185
負債合計	1,231,398	954,320

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	391,329	391,329
資本剰余金	400,096	400,096
利益剰余金	3,748,796	3,748,646
自己株式	△653,616	△653,616
株主資本合計	3,886,605	3,886,455
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,684	△6,381
評価・換算差額等合計	△5,684	△6,381
純資産合計	3,880,920	3,880,073
負債純資産合計	5,112,319	4,834,394

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
売上高	1,097,561	1,130,090
売上原価	759,016	746,091
売上総利益	338,545	383,999
販売費及び一般管理費	214,103	243,124
営業利益	124,441	140,875
営業外収益		
不動産賃貸収入	4,394	4,265
有価証券利息	4,760	5,328
その他	3,438	6,198
営業外収益合計	12,593	15,792
営業外費用		
支払利息	82	142
支払手数料	1,181	102
減価償却費	1,167	1,421
その他	202	347
営業外費用合計	2,633	2,013
経常利益	134,402	154,654
税引前四半期純利益	134,402	154,654
法人税、住民税及び事業税	39,556	48,746
法人税等調整額	2,707	2,079
法人税等合計	42,263	50,826
四半期純利益	92,138	103,828

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社が存在しないため記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,032,386	28,246	1,060,632	36,928	1,097,561
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,032,386	28,246	1,060,632	36,928	1,097,561
セグメント利益又は損失(△)	195,776	△6,395	189,380	1,736	191,117

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産売買取引を行う不動産事業とF C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	189,380
「その他」の区分の利益	1,736
全社費用(注)	△66,675
四半期損益計算書の営業利益	124,441

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,083,194	34,296	1,117,490	12,600	1,130,090
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,083,194	34,296	1,117,490	12,600	1,130,090
セグメント利益	190,867	1,452	192,320	12,498	204,818

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産売買取引を行う不動産事業とF C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	192,320
「その他」の区分の利益	12,498
全社費用(注)	△63,943
四半期損益計算書の営業利益	140,875

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	8,729千円	8,887千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	計		
ホームメイキャップ工事	949,515	—	949,515	—	949,515
足場工事	19,651	—	19,651	—	19,651
建築工事	—	28,246	28,246	—	28,246
材料販売	63,219	—	63,219	1,486	64,705
その他	—	—	—	35,442	35,442
顧客との契約から生じる収益	1,032,386	28,246	1,060,632	36,928	1,097,561
外部顧客への売上高	1,032,386	28,246	1,060,632	36,928	1,097,561

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産売買取引を行う不動産事業とF C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

当第1四半期累計期間(自 2026年6月1日 至 2026年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	計		
ホームメイキャップ工事	971,787	—	971,787	—	971,787
足場工事	15,924	—	15,924	—	15,924
建築工事	—	34,296	34,296	—	34,296
材料販売	95,482	—	95,482	—	95,482
その他	—	—	—	12,600	12,600
顧客との契約から生じる収益	1,083,194	34,296	1,117,490	12,600	1,130,090
外部顧客への売上高	1,083,194	34,296	1,117,490	12,600	1,130,090

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産売買取引を行う不動産事業とF C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。